

令和7年度  
城東区民アンケート結果

令和8年3月

大阪市城東区役所

# 目次

1. 調査の概要	
1-1. 調査目的	3
1-2. 調査方法	3
1-3. 調査内容	3
1-4. 配布・回収結果	3
1-5. 調査結果の見方	4
1-6. 標本誤差	4
1-7. 標本の代表性	5
1-8. 調査結果の活用にあたって	7
2. アンケートの結果	
問1 区役所からの情報の入手先	8
問2 広報誌で充実してほしい記事	10
問3 区役所の取組みに対する思い	12
問4 区役所の情報発信に対する思い	13
問5 日常生活の相談等に関する窓口対応の感じ方	14
問6 住民同士の「つながり」等に対する感じ方	15
問7 防災活動の取組みに対する感じ方	16
問8 広報誌や SNS 等の防災に関する情報に対する防災意識の感じ方	17
問9 災害に備えた備蓄品の準備	18
問10 最大想定浸水深への関心度	19
問11 防犯の取組みに対する感じ方	21
問12 まちの安全に対する感じ方	22
問13 防犯の取組みが安全と感じない理由	23
問14 マイナンバーカードの取得有無	25
問15 マイナンバーカードを取得しない理由	26
問16 マイナンバーカードサービスの認知度	27
問17 中学生以下の子どもの子育て有無	29
問18 城東区で子どもを育てたい思い	30
問19 子育て支援事業の参加有無	31
問20 子育て支援事業の開催情報の入手先	32
問21 健康に配慮した食事への思い	34
問22 朝食摂取の有無	35
問23 年齢	36
問24 家族構成	36
問25 居住年数	37
問26 お住まいの地域	37
(参考) クロス集計	別紙
(参考) 集計結果報告書 (大阪公立大学文学研究科社会学教室)	別紙

# 1. 調査の概要

## 1-1. 調査目的

城東区役所では、区の運営方針に基づき、経営課題の解決に向けさまざまな取り組みを行っています。  
今回は、区の情報発信などについて、区民の皆様が現時点でどのように感じておられるかを把握し、今後の事業を行ううえでの参考とするためにアンケート調査を実施しました。

## 1-2. 調査方法

調査区域：城東区全域

調査対象：住民基本台帳および外国人登録から無作為抽出をした、城東区内在住の18歳以上の1,500人

調査時期：令和8年1月16日（金）～令和8年1月30日（金）

調査方法：郵送による配布・回収及び大阪市行政オンラインシステムによる回収

## 1-3. 調査内容

アンケート調査の内容は、以下のとおりです。

### ■ アンケート調査の項目

問1	区役所からの情報の入手先	問14	マイナンバーカードの取得有無
問2	広報誌で充実してほしい記事	問15	マイナンバーカードを取得しない理由
問3	区役所の取組みに対する思い	問16	マイナンバーカードサービスの認知度
問4	区役所の情報発信に対する思い	問17	中学生以下の子どもの子育て有無
問5	日常生活の相談等に関する窓口対応の感じ方	問18	城東区で子どもを育てたい思い
問6	住民同士の「つながり」等に対する感じ方	問19	子育て支援事業の参加有無
問7	防災活動の取組みに対する感じ方	問20	子育て支援事業の開催情報の入手先
問8	広報誌やSNS等の防災に関する情報に対する防災意識の感じ方	問21	健康に配慮した食事への思い
問9	災害に備えた備蓄品の準備	問22	朝食摂取の有無
問10	最大想定浸水深への関心度	属性	
問11	防犯の取組みに対する感じ方	問23	年齢
問12	まちの安全に対する感じ方	問24	家族構成
問13	防犯の取組みが安全と感じない理由	問25	居住年数
		問26	お住まいの地域

## 1-4. 配布・回収結果

回答者数：754人（郵送による回答467人、大阪市行政オンラインシステムによる回答287人）

回答率：50.3%

有効回答数：754人

年齢有効回答数：729人（年齢未回答25件を除く）

年代区分：30代以下（n=156）、40～50代：（n=260）、60代以上（n=313）

## 1-5. 調査結果の見方

- ・回答結果の割合「%」は、全体値は小数点以下第2位を、グラフで表示した全体値及び年代別値は小数点以下第1位を四捨五入したものです。このため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ形式）の場合、回答は選択肢の有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。
- ・図表中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ・図表中の「n」（サンプル数）は有効標本数（集計対象者総数）、あるいは分類別の該当対象者数を示しています。
- ・数値に関する記述は下記の基準にしたがっています。

例：	3割	30%
	約3割	28～29%、31～32%
	3割強	33～34%
	3割半	35%
	4割弱	36～37%

## 1-6. 標本誤差

今回の調査は標本調査として実施しています。そのため、標本による測定値（調査の結果）と真の値（母集団を全数調査すれば得られるはずの数値）との間に誤差が生じることがあります。この誤差を標本誤差といいます。標本誤差は、標本による測定値に基づいて、母集団値を推定するときの誤差の目安となります。

無作為抽出法を用いた場合の標本誤差（信頼度95%とした場合）については次の式で算出できますが、後述する「標本の代表性」のとおり、標本誤差以外に大きな非標本誤差が発生している可能性があるため、本調査の結果を母比率の推定値として用いる場合にはこの点に留意する必要があります。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \times \sqrt{(P \times (1-P)) / n}$$

(n：標本の大きさ（回答者数）、P：回答比率)

■年代別 回答比率ごとの標本誤差

(単位：%)

標本誤差 (単位：%)		回答比率 (P) 回答者数 (n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
			95%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	50%
全体		754	1.6	2.1	2.5	2.9	3.1	3.3	3.4	3.5	3.6	3.6
年齢別	30代以下	156	3.4	4.7	5.6	6.3	6.8	7.2	7.5	7.7	7.8	7.8
	40～50代	260	2.6	3.6	4.3	4.9	5.3	5.6	5.8	6.0	6.0	6.1
	60代以上	313	2.4	3.3	4.0	4.4	4.8	5.1	5.3	5.4	5.5	5.5

例えば、問3の「区役所が様々な取組み（施策・事業・イベントなど）について、企画・計画段階から区民の参画や協働を得るように努めているか」の結果を見ると、『肯定的意見の割合』（「思う」＋「ある程度思う」）は59.8%で、ここから導き出される標本誤差の数値は、表にある最も近い値(60%)の標本誤差の数値3.5%です。

つまり、母集団を対象にこの調査を行なったところ、「肯定的意見の割合」が60%の前後3.5%の区間内、すなわち56.3%–63.3%の区間内にあることが95%の確率で期待されるということを意味しています。

1-7. 標本の代表性

母比率の推定などの統計的推定を行うためには、標本(回答者集団)が母集団に対する代表性を有している必要があります。この点について検証するため、カイ二乗検定により適合度検定を行います。検定する仮説は次のとおりです。

(帰無仮説) 標本は母集団に対する代表性を有する(偏りが無い)

(対立仮説) 標本は母集団に対する代表性を有しない(偏りがある)

有意水準は5%に設定し、検定から得られるP値が有意水準を下回るか、つまり検定統計量(カイ二乗値)が上側確率5%点を上回り、棄却域に入るかどうかで判断します。

(なお、有意水準は「判断が誤っていることをどの程度まで許容するか」を決める基準で事前に決定します。これを5%にするということは、判断が誤っている確率を5%までは許容するということです。また、P値は「帰無仮説が正しいとした場合に、観測された状態を含め、より極端な状態が観測される確率」です。今回の帰無仮説は「標本は母集団に対する代表性を有する」です。これは「標本は母集団から無作為抽出されたものである」と同義ですので、P値は「母集団から無作為に抽出した場合に、回答者集団のような偏りを含め、もっと偏った集団が抽出される確率」ということになります。)

■母集団の大きさ（N）（令和7年9月現在の住民基本台帳人口）

（単位：人）

	30代以下	40～50代	60代以上	合計
母集団人口	44,317人	50,666人	52,605人	147,588人
母集団比率	30.0%	34.3%	35.6%	100%

\*対象者は18歳以上

■有効回答者数（n）

（単位：人）

	30代以下	40～50代	60代以上	無回答	合計
回答者数	156人	260人	313人	25人	754人
標本比率	21.4%	35.7%	42.9%		100%

\*年齢無回答を除く729人で標本比率を計算

■カイ二乗適合度検定

●適合度検定による検定結果（年齢区分間）

検定統計量（カイ二乗値）：29.33

上側確率5%点：5.991

P値：4.276E-07（4.276を10の7乗で割った数値を表し、有意水準5%を下回ります。）

適合度検定から得られる各年代区分間における検定統計量（カイ二乗値）は29.33であり、カイ二乗分布における上側確率5%点の値である5.991を上回り棄却域に入る（P値が有意水準を下回る）ことから、帰無仮説が棄却され、対立仮説が採択されます。

また、30代以下では母集団の割合より標本数の割合が少なく（過少代表）、60代以上では母集団の割合よりも標本数の割合が多く（過剰代表）なっていることがわかります。

●効果量（Cramér's V）による偏りの規模評価

カイ二乗適合度検定の結果P値は有意でしたが、P値は「偏りが存在するかどうか」を示すだけであり、偏りの大きさを示しておらず、P値はサンプルサイズが大きくなるほど小さくなる性質があるため、偏りの実質的な規模を評価することを目的に、効果量（Cramér's V）による偏りの規模評価を行うこととしました。

Cramér's V=0.14（小～中程度）

Cramér's Vは、検定統計量（カイ二乗値）をサンプルサイズと自由度で標準化した効果量の指標であり、V=0.14は「小～中程度」の偏りに分類されます。これは標本の年齢構成が母集団と完全に一致しているわけではないが、全体集計値を根本的に歪めるほどの偏りでもないことを意味しています。ただし、分析目的によっては0.14程度の偏りでも政策的に無視できない場合があることに留意が必要です。

●結論

p値が有意であっても効果量が小～中程度（V = 0.14）であるという事実は、偏りは統計的には

検出できるが、本分析目的に照らして大きな支障はないことを示しています。

ただし、回答者の属性に偏りが確認されているため、標本誤差に加えて非標本誤差（非回答等に伴う偏り）が含まれる可能性があります。特に全体集計値を母集団の推定として用いる場合で、年齢構成に回答傾向が強く依存する設問については、全体集計値の解釈に留意が必要です。なお、年代別の比較分析においては、この制約は直接影響しません。

#### 1-8. 調査結果の活用にあたって

本調査における標本は、30代以下の過少代表、60代以上の過剰代表という系統的な偏りを有しており、60代以上に特徴的な回答傾向が全体集計値に過大に反映される状況にあります。この偏りについては、ウェイト補正をすることにより、全体集計値の偏りを修正することができます。

しかしながら、ウェイト補正をすることで、推定値の分散（ばらつき）が大きくなること、回答しなかった人（非回答者）の特性が回答者と異なる可能性（非回答バイアス）が排除できないなどの課題があります。そのため、今回は参考値としてウェイト補正值を併記し、解説の補助とします。

※ウェイト補正とは、各年代の標本の割合に生じた偏りを、母集団の年齢構成に合わせて修正することを指します。

年齢層	標本 n	母集団比率	ウェイト値	意味
30代以下	156	30.0%	×1.40	1人の回答を1.40人分として計算
40～50代	260	34.3%	×0.96	1人の回答を0.96人分として計算
60代以上	313	35.6%	×0.83	1人の回答を0.83人分として計算

※本調査において、報告書の作成にあたり、大阪公立大学文学研究科社会学教室よりご助言や分析結果のご報告をいただき、参考とさせていただきました。同教室作成の報告書を添付しておりますのでご参照ください。

※調査結果の活用方法や有意水準、表における選択肢無回答に関する割合（%）の記載方法など、表記や表現が異なる部分があります。

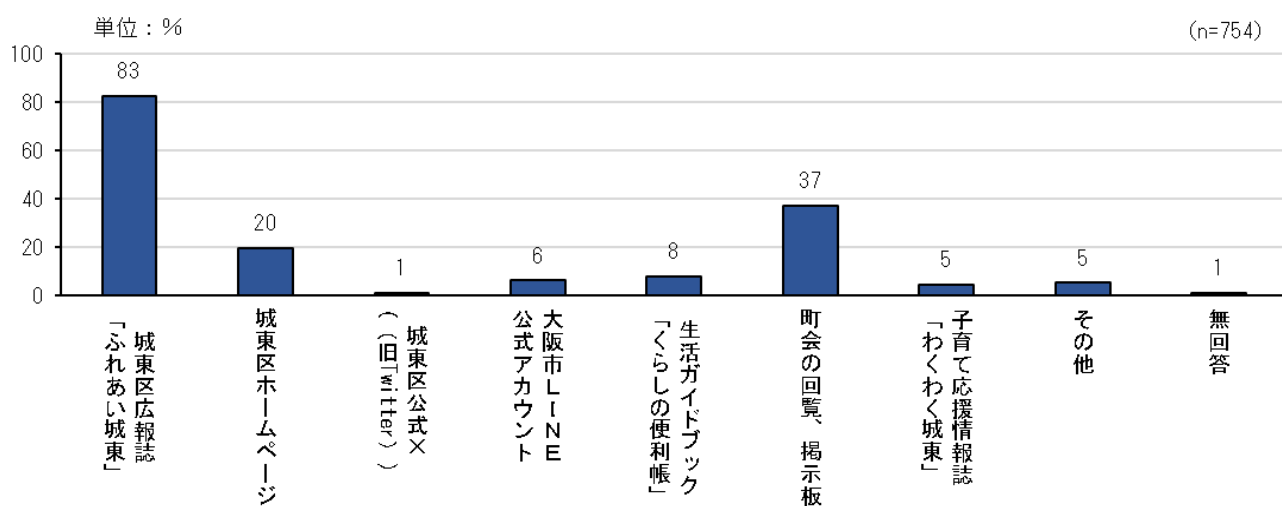
## 2. アンケートの結果

問1 あなたは、城東区役所からの情報を主に何から入手していますか。  
(回答はいくつでも)

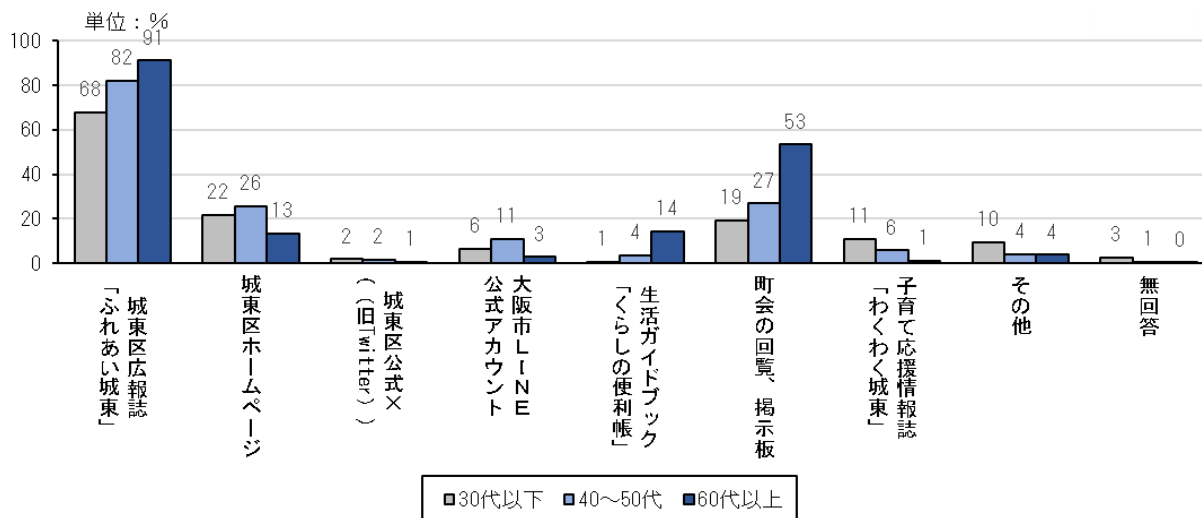
●区役所からの情報の入手先（複数回答）

■全体（n=754）

選択肢	【主】 ウェイト補正なし（%）	【参考】 ウェイト補正あり（%）	差
城東区広報誌「ふれあい城東」	82.5	80.9	1.6
城東区ホームページ	19.6	20.1	-0.5
城東区公式X（旧 Twitter）	1.2	1.3	-0.1
大阪市 LINE 公式アカウント	6.2	6.6	-0.4
生活ガイドブック「くらしの便利帳」	7.8	6.5	1.3
町会の回覧、掲示板	37.3	34.0	3.3
子育て応援情報誌「わくわく城東」	4.6	5.6	-1.0
その他	5.3	5.7	-0.4
無回答	1.1	1.1	0.0



■年代別《30代以下 (n=156)、40～50代 : (n=260)、60代以上 (n=313)》



**城東区広報誌「ふれあい城東」の割合が最も高く8割強**

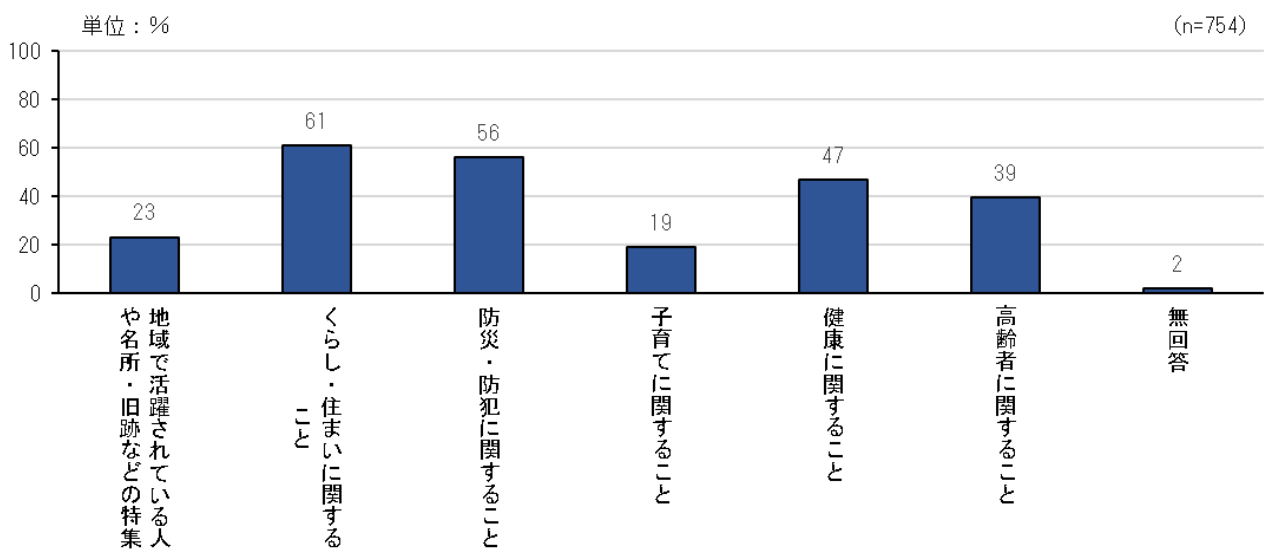
- ・区役所からの情報の入手先は、「城東区広報誌「ふれあい城東」」が83%と最も高く、次いで「町会の回覧、掲示板」が37%、「城東区ホームページ」が20%の順となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の「城東区広報誌「ふれあい城東」」が91%と他の年代と比べて最も高くなっている。

問2 城東区広報誌「ふれあい城東」で、充実してほしい記事はどれですか。  
(回答はいくつでも)

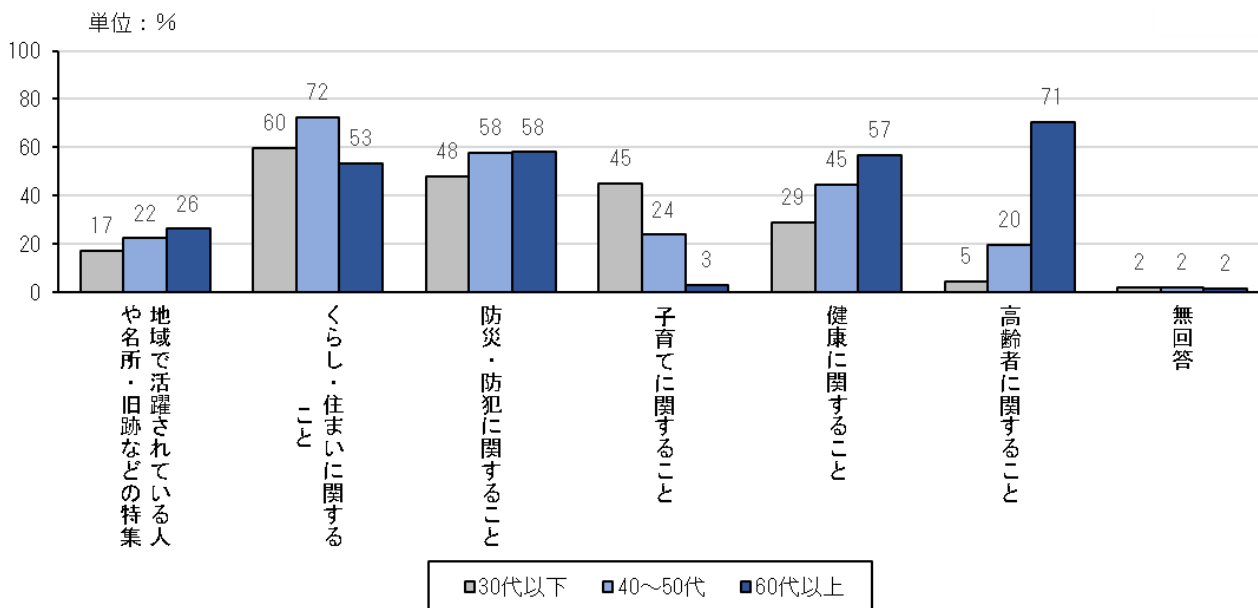
●広報誌で充実してほしい記事（複数回答）

■全体（n=754）

選択肢	【主】 ウェイト補正なし（%）	【参考】 ウェイト補正あり（%）	差
地域で活躍されている人や名所・旧跡などの特集	23.1	22.2	0.9
くらし・住まいに関すること	60.9	61.6	-0.7
防災・防犯に関すること	56.0	54.9	1.1
子育てに関すること	19.0	22.6	-3.6
健康に関すること	46.7	44.2	2.5
高齢者に関すること	39.4	33.2	6.2
無回答	1.9	1.8	0.1



■年代別《30代以下（n=156）、40～50代：（n=260）、60代以上（n=313）》



「くらし・住まいに関すること」の割合が最も高く約6割

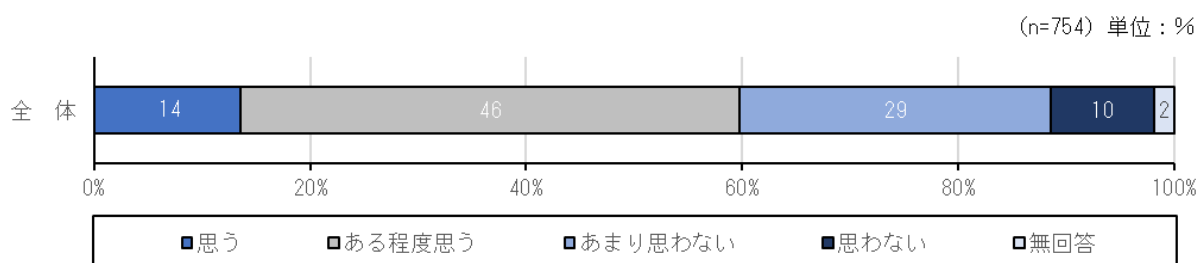
- ・ 広報誌で充実してほしい記事は、「くらし・住まいに関すること」が61%と最も高く、次いで「防災・防犯に関すること」が56%、「健康に関すること」が47%の順となっている。
- ・ 年代別にみると、『40代～50代』の「くらし・住まいに関すること」が72%と他の年代と比べて最も高くなっている。

問3 あなたは、区役所が様々な取組み（施策・事業・イベントなど）について、企画・計画段階から区民の参画や協働を得るように努めていると思いますか。  
（回答は1つだけ）

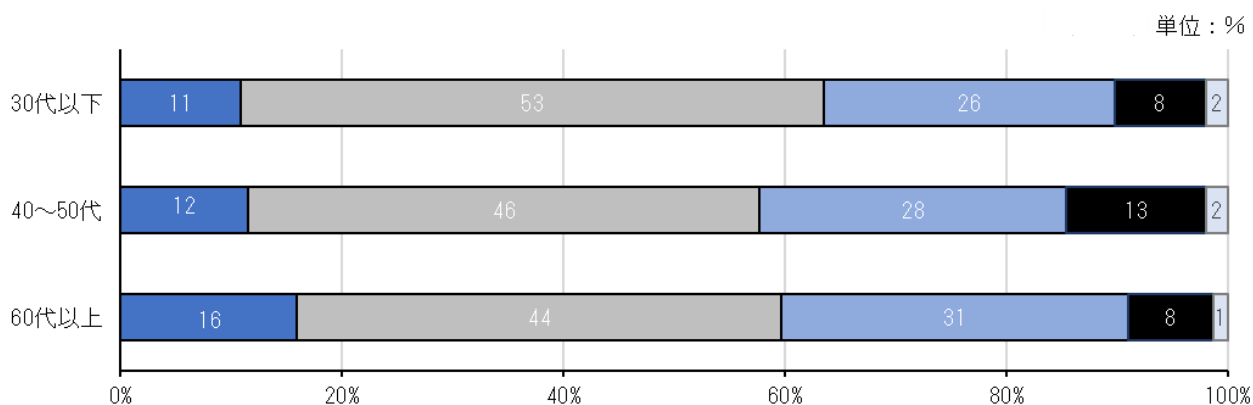
●区役所の取組みに対する思い（単数回答）

■全体（n=754）

選択肢	【主】ウェイト補正なし（%）	【参考】ウェイト補正あり（%）	差
思う	13.5	12.9	0.6
ある程度思う	46.3	47.1	-0.8
あまり思わない	28.8	28.5	0.3
思わない	9.5	9.6	-0.1
無回答	1.9	1.7	0.2



■年代別《30代以下（n=156）、40～50代：（n=260）、60代以上（n=313）》



「思う」「ある程度思う」の合算の割合は6割

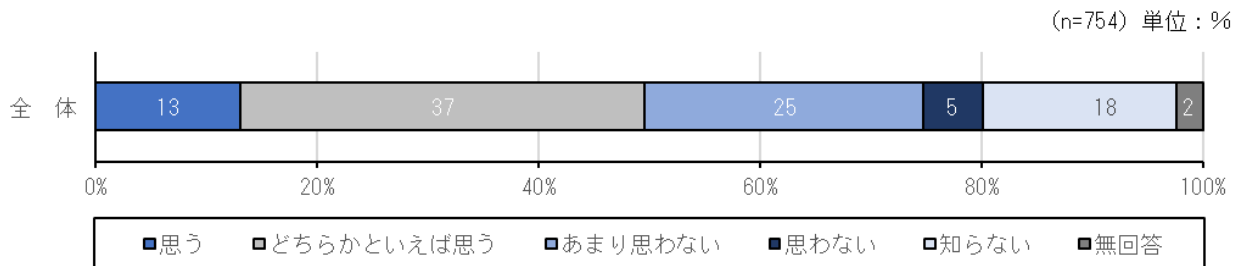
- ・区役所の取組みに対する思いについては、「ある程度思う」が46%と最も高く、次いで「あまり思わない」が29%、「思う」が14%の順となっている。
- ・“思う”（「思う」＋「ある程度思う」）は、60%で6割となっている。
- ・年代別にみると、『30代以下』の“思う”（「思う」＋「ある程度思う」）が64%と他の年代と比べて高くなっている。

問4 区役所の様々な取組み（施策・事業・イベントなど）について、区の広報誌、ホームページ、X（旧Twitter）や、大阪市LINE公式アカウント（お住まいの区の情報など、ご希望の情報）などにより、区役所から情報発信をおこなっています。必要な時に必要な情報が届いていると思いますか。（回答は1つだけ）

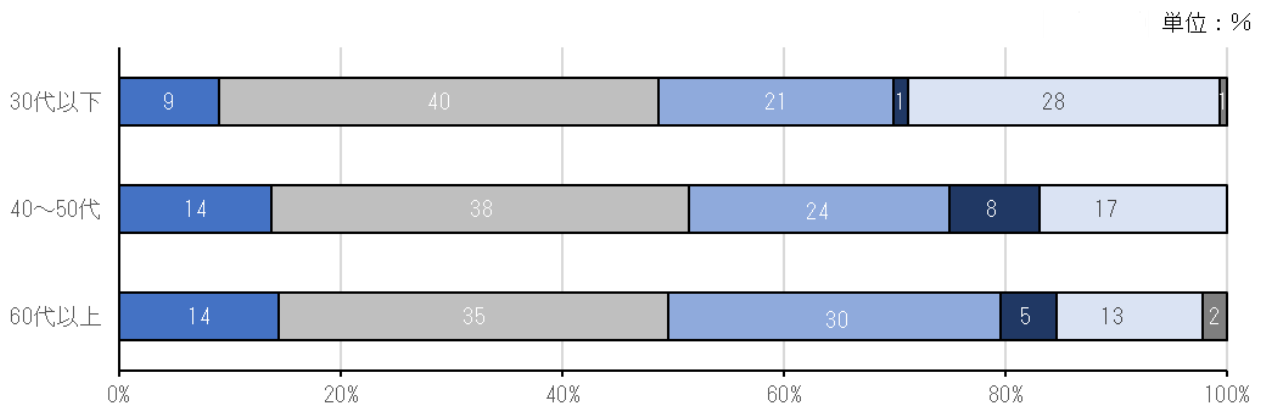
●区役所の情報発信に対する思い（単数回答）

■全体（n=754）

選択肢	【主】ウェイト補正なし（%）	【参考】ウェイト補正あり（%）	差
思う	13.1	12.6	0.5
どちらかといえば思う	36.5	37.3	-0.8
あまり思わない	25.2	25.1	0.1
思わない	5.3	5.0	0.3
知らない	17.5	18.9	-1.4
無回答	2.4	1.0	1.4



■年代別《30代以下（n=156）、40～50代：（n=260）、60代以上（n=313）》



「思う」「どちらかといえば思う」の合算の割合は5割

- ・区役所の情報発信に対する思いについては、「どちらかといえば思う」が37%と最も高く、次いで「あまり思わない」が25%、「知らない」が18%の順となっている。
- ・“思う”（「思う」＋「どちらかといえば思う」）は、50%で5割となっている。
- ・年代別にみると、『40～50代』の“思う”（「思う」＋「どちらかといえば思う」）が52%と他の年代と比べて高くなっている。

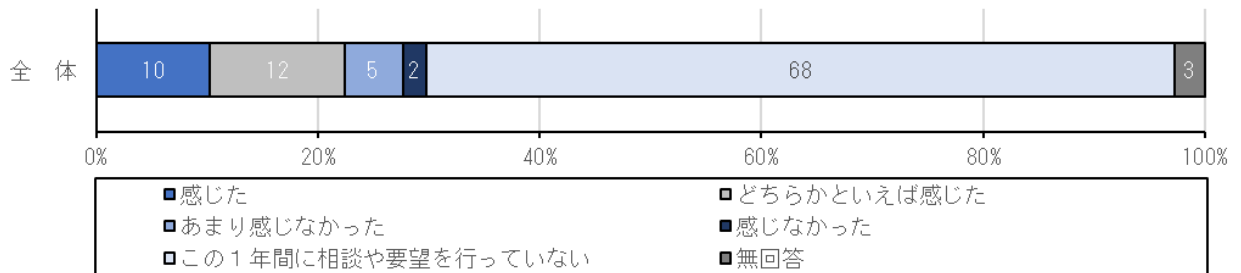
問5 あなたはこの1年間に、区役所に対して、日常生活に関する相談や要望を行ったことはありますか。その際、区役所は、区民に身近な窓口として、適切に対応したと感じましたか。（回答は1つだけ）

●日常生活の相談等に関する窓口対応の感じ方（単数回答）

■全体（n=754）

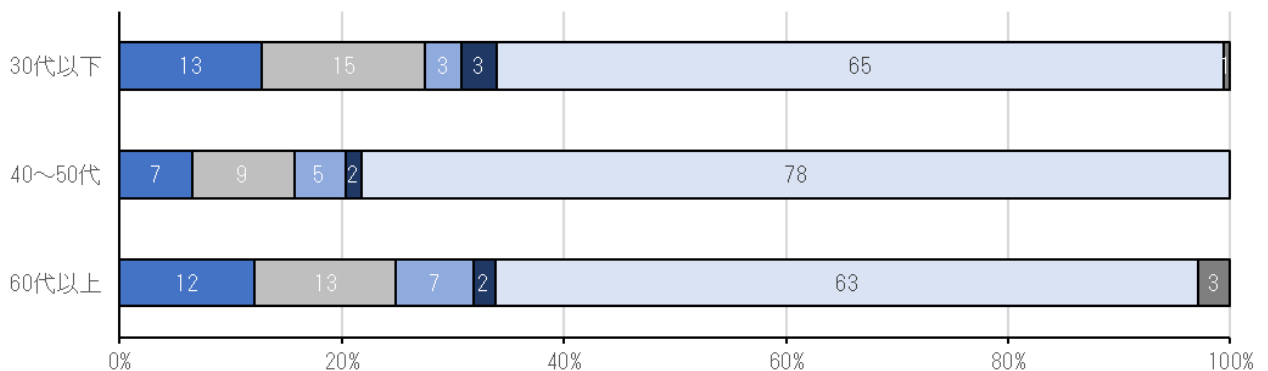
選択肢	【主】ウェイト補正なし（%）	【参考】ウェイト補正あり（%）	差
感じた	10.2	10.4	-0.2
どちらかといえば感じた	12.2	12.1	0.1
あまり感じなかった	5.3	5.0	0.3
感じなかった	2.1	2.2	-0.1
この1年間に相談や要望を行っていない	67.5	68.9	-1.4
無回答	2.7	1.2	1.5

(n=754) 単位：%



■年代別《30代以下（n=156）、40～50代：（n=260）、60代以上（n=313）》

単位：%



「感じた」「どちらかといえば感じた」の合算の割合は約2割

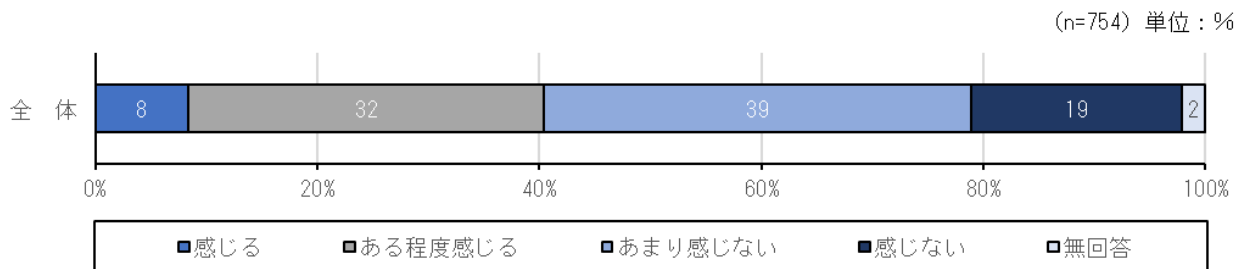
- ・日常生活の相談等に関する窓口対応の感じ方については、「この1年間に相談や要望を行っていない」が68%と最も高く、次いで「どちらかといえば感じた」が12%、「感じた」が10%の順となっている。
- ・“感じた”（「感じた」＋「どちらかといえば感じた」）は、22%で約2割となっている。
- ・年代別にみると、『30代以下』の“感じた”（「感じた」＋「どちらかといえば感じた」）が28%と他の年代と比べて高くなっている。

問6 あなたにとって住民同士の「つながり」や「きずな」があると感じますか。  
(回答は1つだけ)

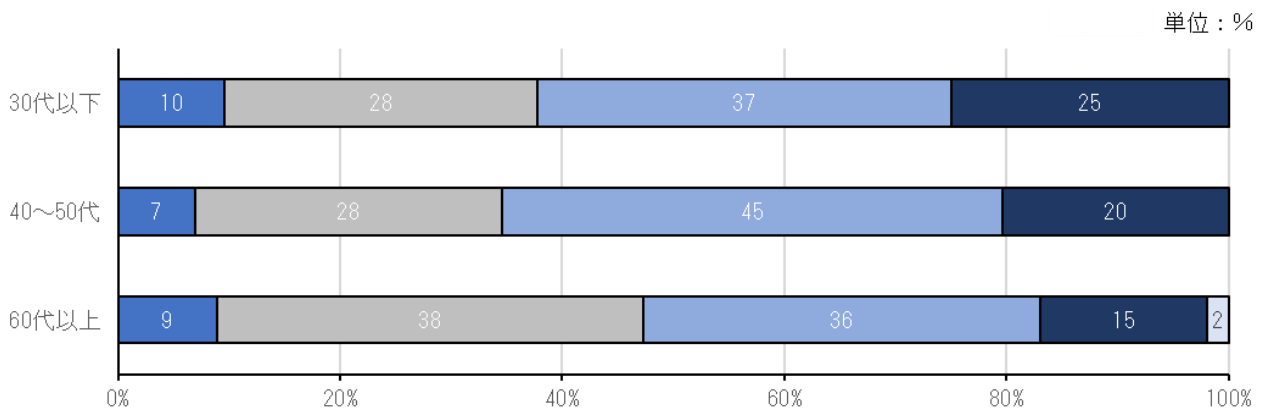
●住民同士の「つながり」等に対する感じ方(単数回答)

■全体 (n=754)

選択肢	【主】ウェイト補正なし (%)	【参考】ウェイト補正あり (%)	差
感じる	8.4	8.4	0.0
ある程度感じる	32.0	31.6	0.4
あまり感じない	38.6	39.3	-0.7
感じない	19.0	19.8	-0.8
無回答	2.1	0.7	1.4



■年代別《30代以下 (n=156)、40～50代 : (n=260)、60代以上 (n=313)》



「感じる」「ある程度感じる」の合算の割合は4割

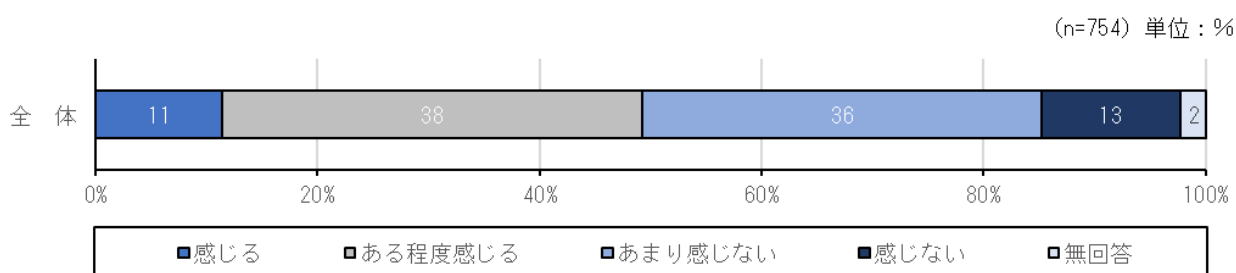
- ・住民同士の「つながり」等に対する感じ方については、「あまり感じない」が39%と最も高く、次いで「ある程度感じる」が32%、「感じない」が19%の順となっている。
- ・“感じる”(「感じる」+「ある程度感じる」)は、40%で4割となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の“感じる”(「感じる」+「ある程度感じる」)が47%と他の年代と比べて高くなっている。

問7 防災についてお聞きします。お住まいの地域は、防災活動（※）に取り組んでいると感じますか。（回答は1つだけ）

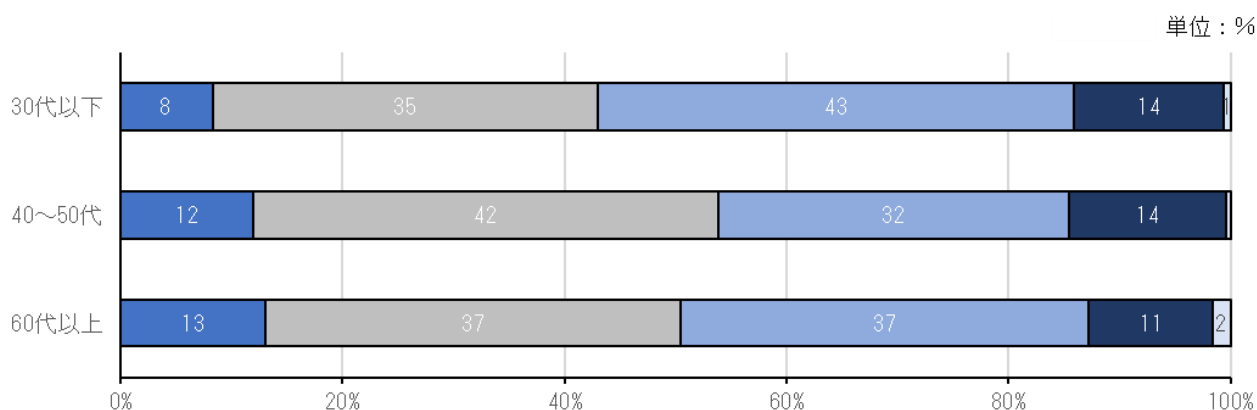
●防災活動の取り組みに対する感じ方（単数回答）

■全体（n=754）

選択肢	【主】ウェイト補正なし（%）	【参考】ウェイト補正あり（%）	差
感じる	11.4	11.2	0.2
ある程度感じる	37.9	38.0	-0.1
あまり感じない	35.9	36.8	-0.9
感じない	12.5	12.9	-0.4
無回答	2.3	0.9	1.4



■年代別《30代以下（n=156）、40～50代（n=260）、60代以上（n=313）》



「感じる」「ある程度感じる」の合算の割合は約5割

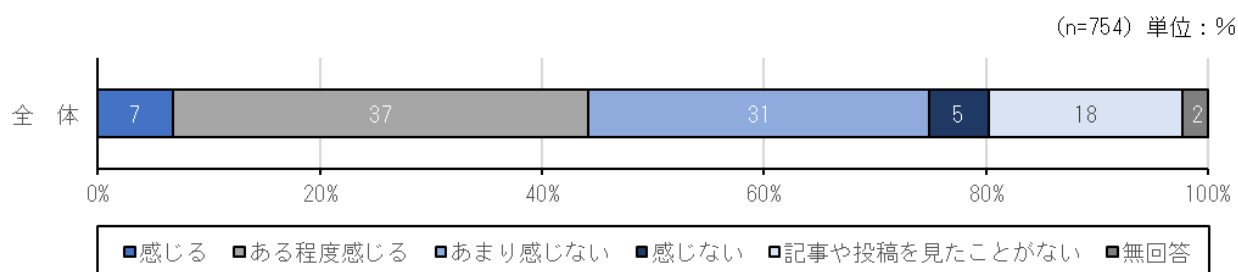
- ・防災活動の取り組みに対する感じ方については、「ある程度感じる」が38%と最も高く、次いで「あまり感じない」が36%、「感じない」が13%の順となっている。
- ・“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）は、49%で約5割となっている。
- ・年代別にみると、『40～50代』の“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が54%と他の年代と比べて高くなっている。

問8 区広報誌「ふれあい城東」や区公式ホームページ・SNS（X（旧Twitter）、YouTube）の防災に関する記事や投稿をご覧になり、ご自身の防災意識が向上したと感じますか。  
（回答は1つだけ）

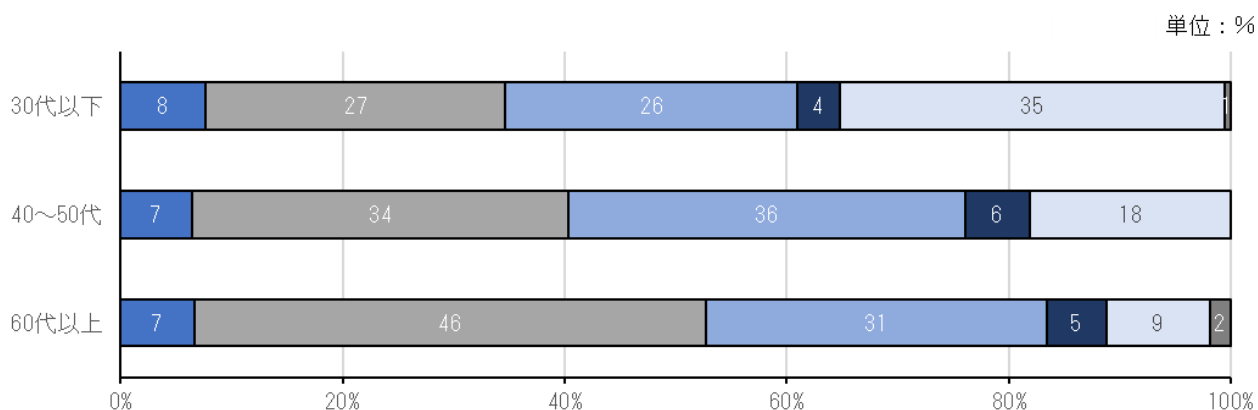
● 広報誌や SNS 等の防災に関する情報に対する防災意識の感じ方（単数回答）

■ 全体（n=754）

選択肢	【主】ウェイト補正なし (%)	【参考】ウェイト補正あり (%)	差
感じる	6.8	6.9	-0.1
ある程度感じる	37.4	36.0	1.4
あまり感じない	30.8	31.1	-0.3
感じない	5.3	5.1	0.2
記事や投稿を見たことがない	17.5	19.9	-2.4
無回答	2.3	0.9	1.4



■ 年代別 《30代以下（n=156）、40～50代：（n=260）、60代以上（n=313）》



「感じる」「ある程度感じる」の合算の割合は4割強

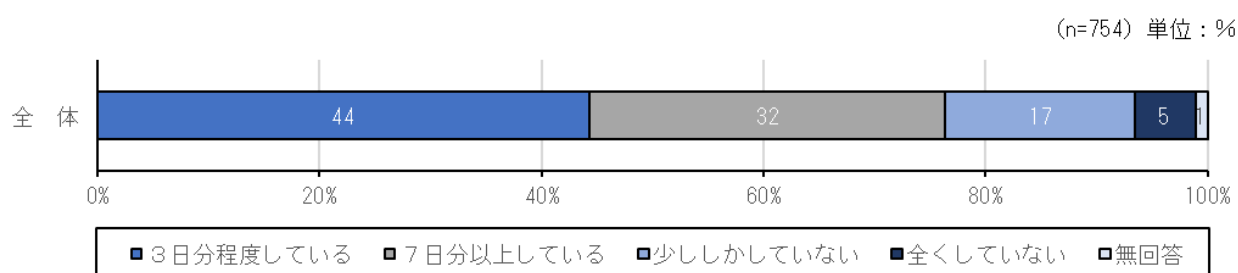
- ・ 広報誌や SNS 等の防災に関する情報に対する防災意識の感じ方については、「ある程度感じる」が37%と最も高く、次いで「あまり感じない」が31%、「記事や投稿を見たことがない」が18%の順となっている。
- ・ “感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）は、44%で4割強となっている。
- ・ 年代別にみると、『60代以上』の“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が53%と他の年代と比べて高くなっている。

問9 近年、能登半島地震発生や南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されるなど、災害に備える必要性や注目が高まっています。災害に備えて、備蓄用携帯トイレを家族の人数分の準備をしていますか。（回答は1つだけ）

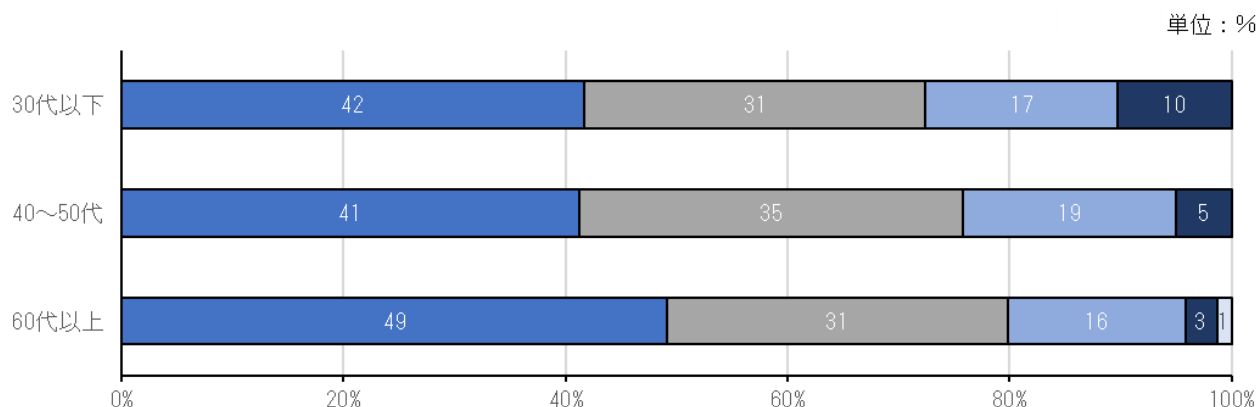
●災害に備えた備蓄品の準備（単数回答）

■全体（n=754）

選択肢	【主】ウェイト補正なし（%）	【参考】ウェイト補正あり（%）	差
3日分程度している	44.3	44.1	0.2
7日以上以上している	32.1	32.0	0.1
少ししかしていない	17.1	17.5	-0.4
全くしていない	5.4	5.8	-0.4
無回答	1.1	0.5	0.6



■年代別《30代以下（n=156）、40～50代：（n=260）、60代以上（n=313）》



「3日分程度している」の割合が4割強

- ・災害に備えた備蓄品の準備については、「3日分程度している」が44%と最も高く、次いで「7日以上以上している」が32%、「少ししかしていない」が17%の順となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の「3日分程度している」が49%と他の年代と比べて高くなっている。

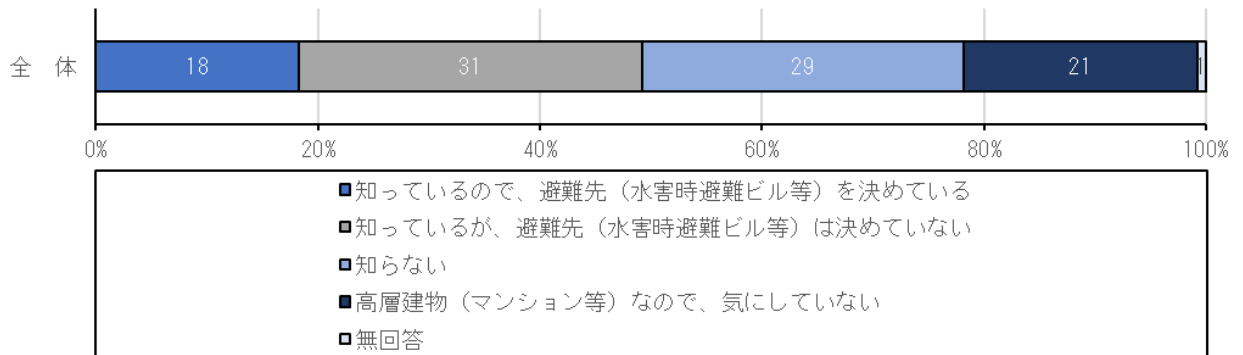
問10 城東区では「川の氾濫」「内水氾濫」等による浸水と「南海トラフ巨大地震」による津波浸水に備え、区内740か所の電柱に「想定浸水深表示板」を設置しています。ご自宅の最大想定浸水深がどれ位かご存知ですか。（回答は1つだけ）

●最大想定浸水深への関心度（単数回答）

■全体（n=754）

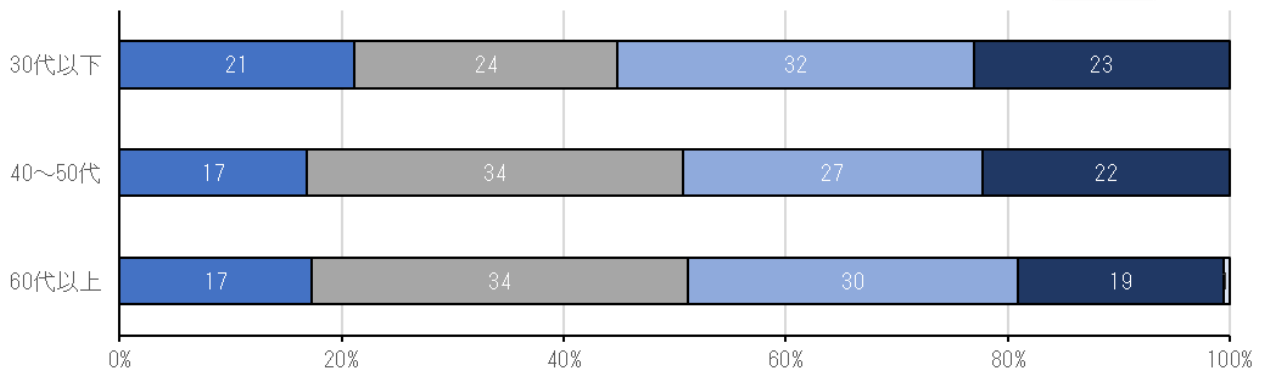
選択肢	【主】 ウェイト補正 なし（%）	【参考】 ウェイト補正 あり（%）	差
知っているので、避難先（水害時避難ビル等）を決めている	18.3	18.3	0.0
知っているが、避難先（水害時避難ビル等）は決めていない	30.9	30.8	0.1
知らない	29.0	29.4	-0.4
高層建物（マンション等）なので、気にしていない	21.0	21.2	-0.2
無回答	0.8	0.2	0.6

(n=754) 単位：%



■年代別《30代以下（n=156）、40～50代：（n=260）、60代以上（n=313）》

単位：%



「知っているが、避難先（水害時避難ビル等）は決めていない」の割合が約3割

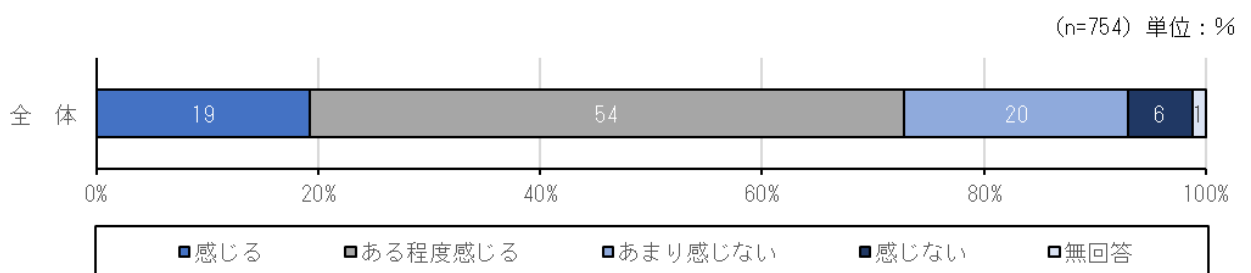
- ・最大想定浸水深への関心度については、「知っているが、避難先（水害時避難ビル等）は決めていない」が31%と最も高く、次いで「知らない」が29%、「高層建物（マンション等）なので、気にしていない」が21%の順となっている。
- ・年代別にみると、『40～50代』と『60代以上』の「知っているが、避難先（水害時避難ビル等）は決めていない」が34%と他の年代と比べて高くなっている。

問11 防犯についてお聞きします。あなたは、防犯の取組み（※）が犯罪の発生抑止につながっていると感じますか。（回答は1つだけ）

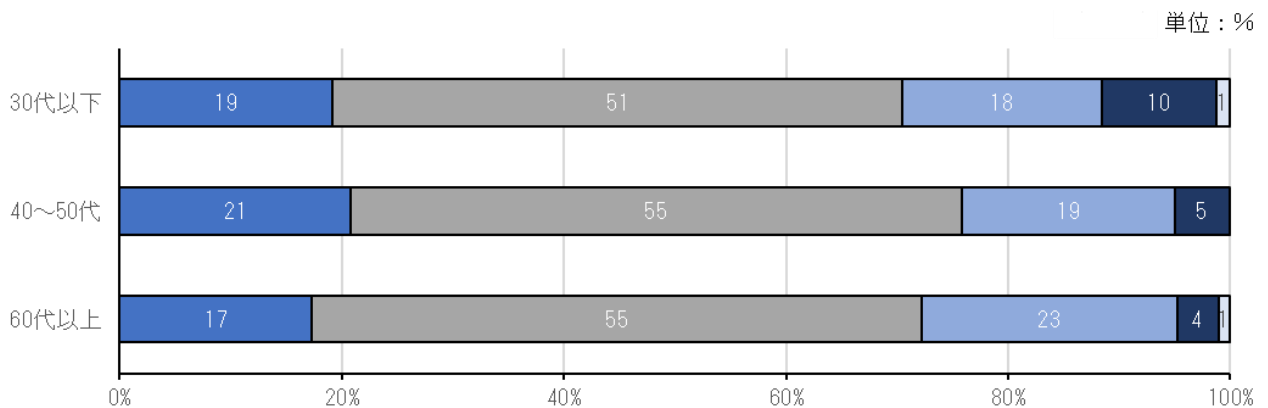
●防犯の取組みに対する感じ方（単数回答）

■全体（n=754）

選択肢	【主】ウェイト補正なし（%）	【参考】ウェイト補正あり（%）	差
感じる	19.2	19.0	0.2
ある程度感じる	53.6	53.8	-0.2
あまり感じない	20.2	20.2	0.0
感じない	5.8	6.2	-0.4
無回答	1.2	0.7	0.5



■年代別《30代以下（n=156）、40～50代：（n=260）、60代以上（n=313）》



「感じる」「ある程度感じる」の合算の割合は7割強

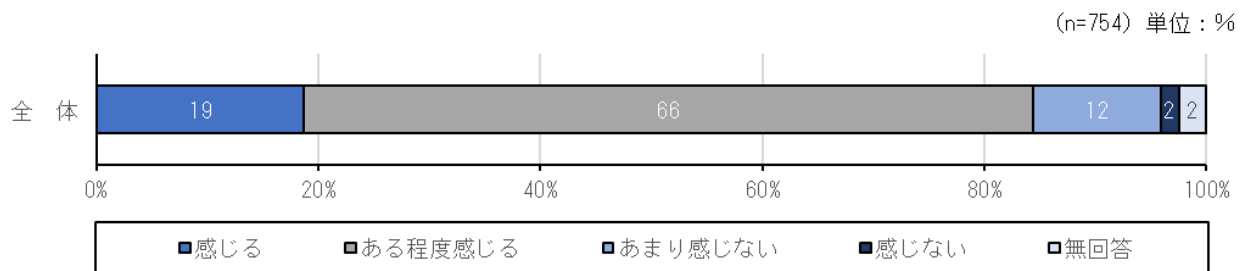
- ・防犯の取組みに対する感じ方については、「ある程度感じる」が54%と最も高く、次いで「あまり感じない」が20%、「感じる」が19%の順となっている。
- ・“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）は、73%で7割強となっている。
- ・年代別にみると、『40～50代』の“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が76%と他の年代と比べて高くなっている。

問12 あなたのお住まいのまちが安全で安心だと感じますか。（回答は1つだけ）

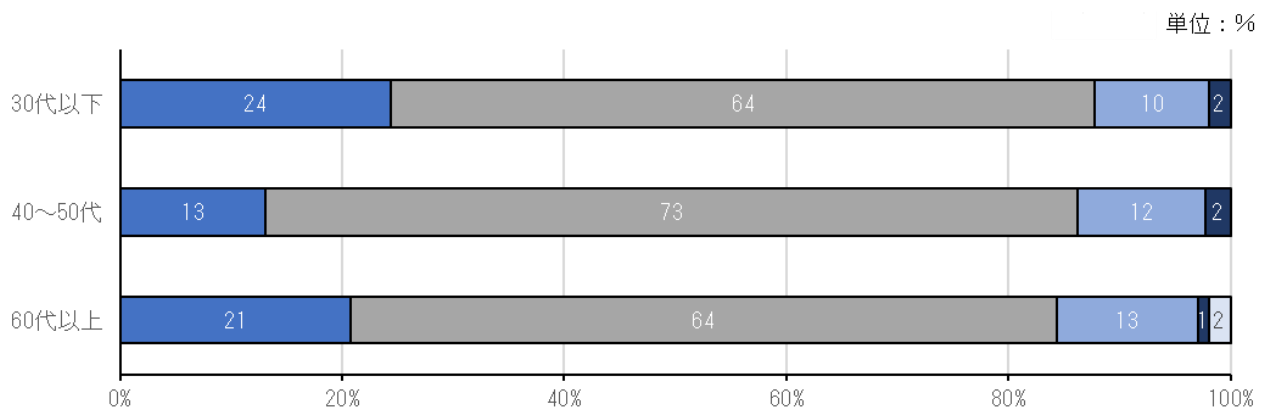
●まちの安全に対する感じ方（単数回答）

■全体（n=754）

選択肢	【主】ウエイト補正なし（%）	【参考】ウエイト補正あり（%）	差
感じる	18.7	19.2	-0.5
ある程度感じる	65.6	66.7	-1.1
あまり感じない	11.5	11.6	-0.1
感じない	1.7	1.7	0.0
無回答	2.4	0.7	1.7



■年代別《30代以下（n=156）、40～50代：（n=260）、60代以上（n=313）》



「感じる」「ある程度感じる」の合算の割合は約8割半

- ・まちの安全に対する感じ方については、「ある程度感じる」が66%と最も高く、次いで「感じる」が19%、「あまり感じない」が12%の順となっている。
- ・“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）は、85%で約8割半となっている。
- ・年代別にみると、『30代以下』の“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が88%と他の年代と比べて高くなっている。

問13 【問12で「3. あまり感じない」又は「4. 感じない」と回答された方にお聞きします。】安全で安心だと感じない理由は何ですか。（自由意見）

●防犯の取組みが安全と感じない理由（代表的なご意見）

自由意見

【外国人】

- ・外国人が多い。[同5件]
- ・外国人が増えてきているので安心で安全だとあまり感じない。ゴミ捨てのマナーも悪く不衛生。分別もせず、ゴミ出しの日も守らない人が多い。近くに民泊があり外国人の旅行者が多く、夜も騒がしい。
- ・コンビニ店員に外国の方が増えた為、夕方や夜などに外国の方がたまっていたりする。娘がいるので少し怖いと思ってしまう。
- ・外国人の人をよく見かけるようになり、ニュースで犯罪が増えていると見たので。
- ・最近外国人旅行者の民泊施設増加や生活者増に対する施策が全く感じられない、又マンションでも不審者進入の事件も起きてきた。
- ・外国人が多いたむろしている。

【事件・事故】

- ・ポストの郵便物がなくなったことがある。不審な外国人や、老人が増えたと感じるため。
- ・繁華街が近い為、盗難や事故がある。
- ・不審者をときどき見かける。（挙動不審な人、叫んでる人）
- ・この半年で二度、夜間につきまといがあった。どちらも人通りがあまりない上に街灯が少なく暗かった。年に1度ほど泥棒の事件が発生している。
- ・ニュース等で報じられる事件等が全国あらゆる所で多く、どこに住んでいても物騒な世の中だと感じているから。
- ・マンションの周りに毎日叫びまくる人が夜中にくる。玄関にピンポンだけ鳴らしにくる人がいる。
- ・ひったくりや犯罪、痴漢等あるため。
- ・夜に車の盗難防止アラームの音がたまに聞こえることがあるから。
- ・以前包丁を振り回してる人が近所にいたと聞いたことがあるため。
- ・近くの薬局で強盗事件が発生していた事を聞いたから。
- ・近所の家に2度空き巣が入ったと聞いた。酔っ払いが多い、泥酔し寝ていたり、警察が来た事が何度かある。
- ・民泊が多く外国人がウロウロしている。時々大声で叫びながら（1人で怒鳴りながら）歩く人がいる。平気でタバコの吸い殻、ゴミが捨てられている。
- ・近くのスーパーで事件があったから。
- ・最近、公園に金属バットを持った男の人や保育園の近くに包丁を持った人がみかけられた等、何か起きないと被害なしとされ犯人がわからないまま住民はおびえる。気を付けないというだけしか出来ず、世の中が危なくなってきたと感じる。
- ・ニュースで見るといつどこで何が起きるかわからない。
- ・車両荒らしがあった。外国人が多い。
- ・最近サイレンの音が夜中に増えた気がします。お店が（飲食）近いので夜遅くでも大声で話したりが時々あり、深夜は少しうるさく感じます。
- ・世の中のニュースは突然驚く様な事が起きているので安心、安全とは思えない。

【街灯】

- ・街灯が少なく感じる。[同5件]

【自動車、バイク、自転車】

- ・交通量の多い区画で、自動車が歩行者を見ておらず、危険な思いをしたことがあった。自転車も多く、横並びに歩道いっぱいに広がったり、すごいスピードで走行していることも多い。裏通りは暗く感じるところもあり、そこに駐車している車が不気味に見える時がある。
- ・夜のバイクがうるさすぎる。
- ・子供の通学路がとて道幅の狭い所があり、自転車などとすれ違う際に危険だと感じる。繁華街が近く、車通りも多いので交通事故やその他トラブルなどが心配なため。
- ・夜中に騒いでいる人がいたり、交通ルールを守っていない自転車や自動車を見かけたりするから。
- ・電動キックボードやLUUPの危険な走行が多い。
- ・狭い路地に入ると街灯が少なかったり暗かったりする。家前の自転車放置が車の通行の妨げになっている。
- ・車の交通量が凄く多い（抜け道になっている住宅街の道）
- ・マナーが悪い（信号無視、路上喫煙、ゴミのポイ捨て、自転車のルール無視等）
- ・無断駐車が多発。取り締まられていない。

【その他】

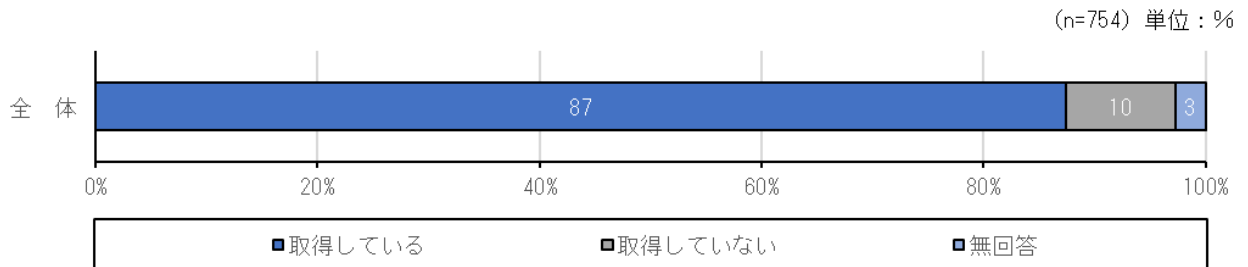
- ・何をもって何に守られているかわからないから。
- ・空き家が多く隣近所のお付き合いもなく安心、安全とは思わないです。
- ・隣近所が少ないし、話できる人も少ない。夜には閑散と暗い。火災が起こったり、不審者が居てもおかしくないのが、怖い。
- ・町内パトロール等いっさいない。
- ・繋がりが薄い。
- ・町内会の交流がない。町内会の催しが無い。
- ・町内会が動いていない。
- ・定期的に見回り等があるとかでもない為
- ・タバコのポイ捨て等を見て思います。
- ・城東区は防犯カメラが少なく蒲生2丁目付近にカメラがない。
- ・人と人との繋がりをあまり感じないので何か有った時に不安を感じる
- ・パトロールが少ない
- ・マンション住人以外の方が中に入りやすい。車の持ち主以外（マンション）の車が勝手に入って、よく方向転換をしている。
- ・空家が増えている事もあり、人がいない事で夜は暗かったりすると不用心を感じている。
- ・災害時の避難場所の確保が少ないように思う。
- ・路上喫煙者・ゴミのポイ捨て・立小便・自転車暴走・夜中に奇声、大声とにかく民度が低い。町がゴミだらけ。
- ・自転車の信号無視、スマートフォンなど操作しながらの運転。・ゴミ等のポイ捨て。
- ・絶対はないし、普段子供が利用する公園前の交番がいつも留守だったりを見ているから。
- ・ルールを守らない人が多く感じるから。（路上喫煙、ポイ捨て、不法侵入等）
- ・城東区内も淀川からの津波が来るのかと心配。
- ・パトカーがよく走っていたり、反社会的な人が多い様に感じる。

問14 あなたはマイナンバーカードを取得していますか。(回答は1つだけ)

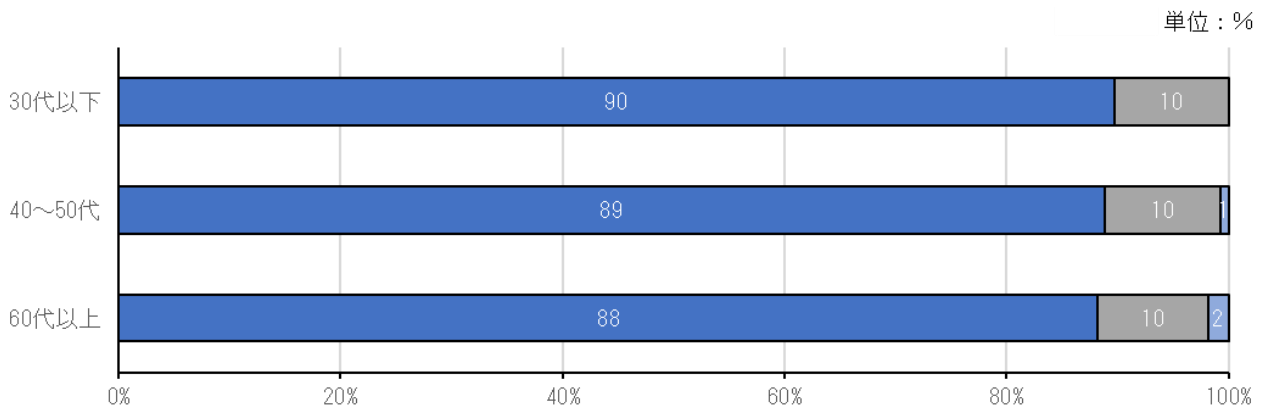
●マイナンバーカードの取得有無(単数回答)

■全体(n=754)

選択肢	【主】ウェイト補正なし(%)	【参考】ウェイト補正あり(%)	差
取得している	87.4	88.7	-1.3
取得していない	9.9	10.2	-0.3
無回答	2.7	0.9	1.8



■年代別《30代以下(n=156)、40~50代:(n=260)、60代以上(n=313)》



**「取得している」の割合が9割弱**

- ・マイナンバーカードの取得有無については、「取得している」が87%で9割弱となっている。
- ・年代間の差は小さく、ほぼ全世代で9割弱~9割が取得済み。

問15 マイナンバーカードを取得しない理由は何ですか。

● マイナンバーカードを取得しない理由（自由意見）

自由意見

【高齢】

- ・ 高齢のため。[同 2 件]
- ・ 高齢で申請に行けない。

【面倒】

- ・ 取得するのが面倒くさい。[同 2 件]

【時間が無い】

- ・ 区役所に行く時間がとれない。
- ・ 平日仕事の為、行くひまがない。

【個人情報】

- ・ 個人情報管理の不安と、所持していなくてもそこまで不安を感じないため。
- ・ 個人情報の流出などよくない情報が多いから。

【その他】

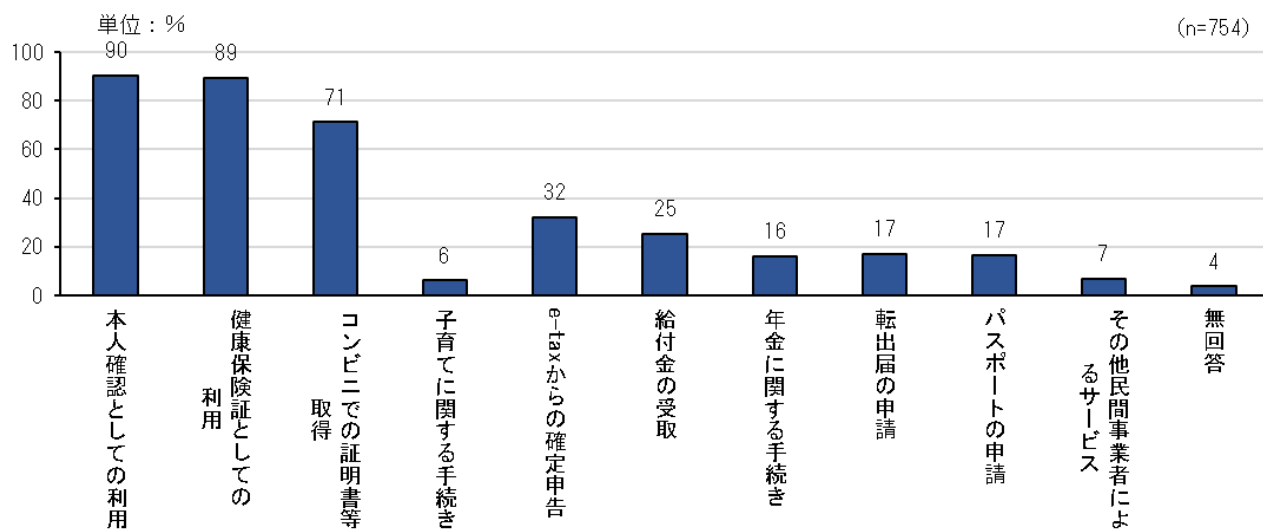
- ・ 家族の人数が多く面倒。更新のたびに区役所に行かなければならないと聞き億劫。
- ・ 運用・管理体制を信用できない。ポイントキャンペーンも期間があるので不公平であり、そもそもポイントで釣るようなものでもないと思う。運転免許証や健康保険証の機能を後付けで併せるのも、建前の意図はわかるが、現実に沿っていない。政府主導でのデジタル化はとにかくレベルが低いと感じていて、コロナ対策や万博のアプリも粗製濫造したがうまく機能していなかったため、マイナンバーカードなど運用できると思えない。
- ・ マイナンバーカード導入時には必要性が感じられなかったが、近いうちに取得しようと思う。
- ・ 信用度の問題
- ・ 利便性を感じないので
- ・ 以前取得したが、更新を忘れており失効となりました。ポイント配布期間に再取得しようとしたが、ポイント配布の対象ではないと言われ、手続きも混雑していたため現在は所持していません。
- ・ 個人番号を失念しており、区役所の開庁時間にも間に合わず、面倒になってしまっているため。
- ・ 以前入手したものは期限が切れています。
- ・ よくわからない。

問16 マイナンバーカードを用いてどのようなサービスを受けることができるか知っていますか。(回答はいくつでも)

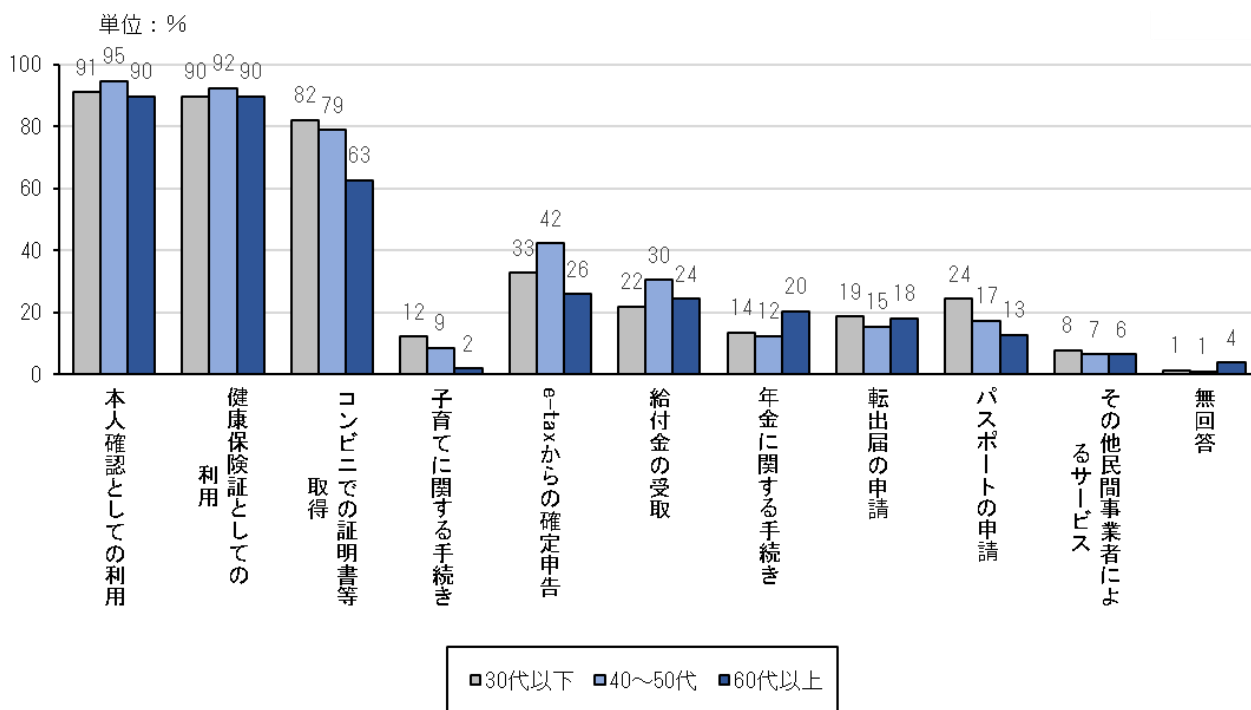
●マイナンバーカードサービスの認知度(複数回答)

■全体 (n=754)

選択肢	【主】ウエイト補正なし(%)	【参考】ウエイト補正あり(%)	差
本人確認としての利用	90.2	91.7	-1.5
健康保険証としての利用	89.4	90.5	-1.1
コンビニでの証明書等取得	71.1	73.9	-2.8
子育てに関する手続き	6.2	7.2	-1.0
e-taxからの確定申告	32.2	33.5	-1.3
給付金の受取	25.3	25.6	-0.3
年金に関する手続き	16.0	15.5	0.5
転出届の申請	17.1	17.3	-0.2
パスポートの申請	16.7	17.8	-1.1
その他民間事業者によるサービス	6.8	6.8	0.0
無回答	3.7	2.0	1.7



■年代別《30代以下（n=156）、40～50代：（n=260）、60代以上（n=313）》



「本人確認としての利用」の割合が最も高く約9割

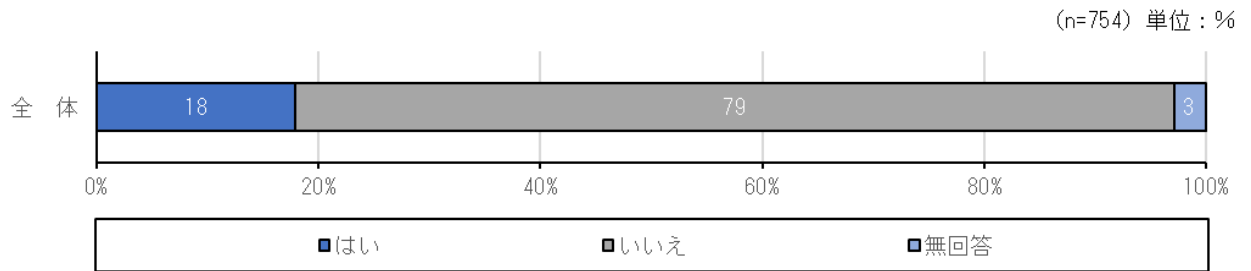
- ・マイナンバーカードサービスの認知度については、「本人確認としての利用」が90%と最も高く、次いで「健康保険証としての利用」が89%、「コンビニでの証明書等取得」が71%の順となっている。
- ・年代別にみると、『40～50代』の「本人確認としての利用」が95%と他の年代と比べて最も高くなっている。

問17 あなたは現在、妊娠中もしくは中学生以下のお子さまの子育てをしていますか。（回答は1つだけ）

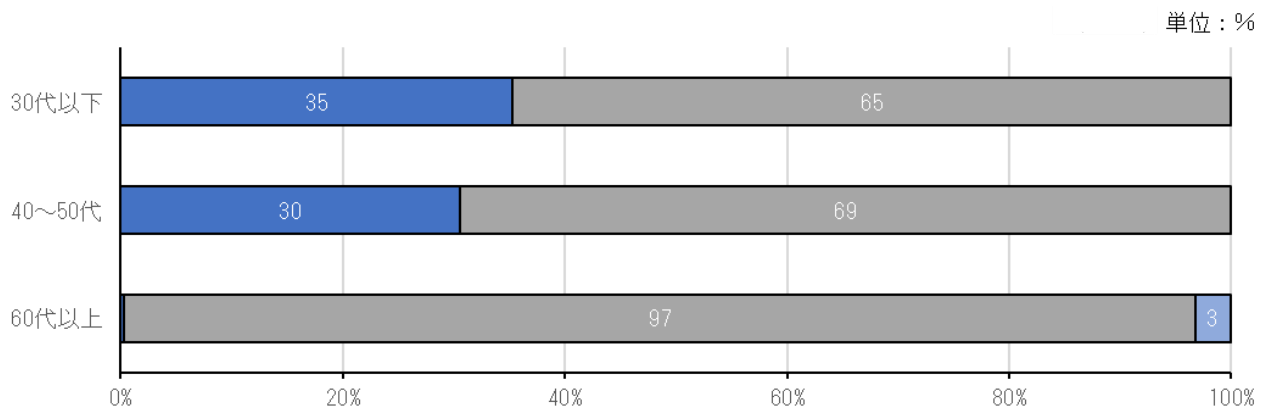
●中学生以下の子どもの子育て有無（単数回答）

■全体（n=754）

選択肢	【主】ウェイト補正なし（%）	【参考】ウェイト補正あり（%）	差
はい	17.9	21.1	-3.2
いいえ	79.2	77.5	1.7
無回答	2.9	1.3	1.6



■年代別《30代以下（n=156）、40～50代：（n=260）、60代以上（n=313）》



「いいえ」の割合が約8割

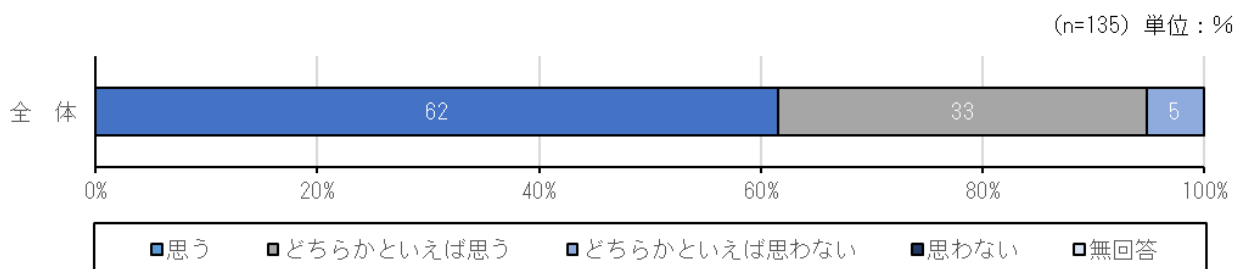
- ・中学生以下の子どもの子育て有無についてみると、「いいえ」が79%で約8割となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の「いいえ」が97%と他の年代と比べて高くなっている。

問18 【問17で「1. はい」と回答された方にお聞きします。】  
 あなたは、これからも城東区で子どもを育てていきたいと思いませんか。  
 (回答は1つだけ)

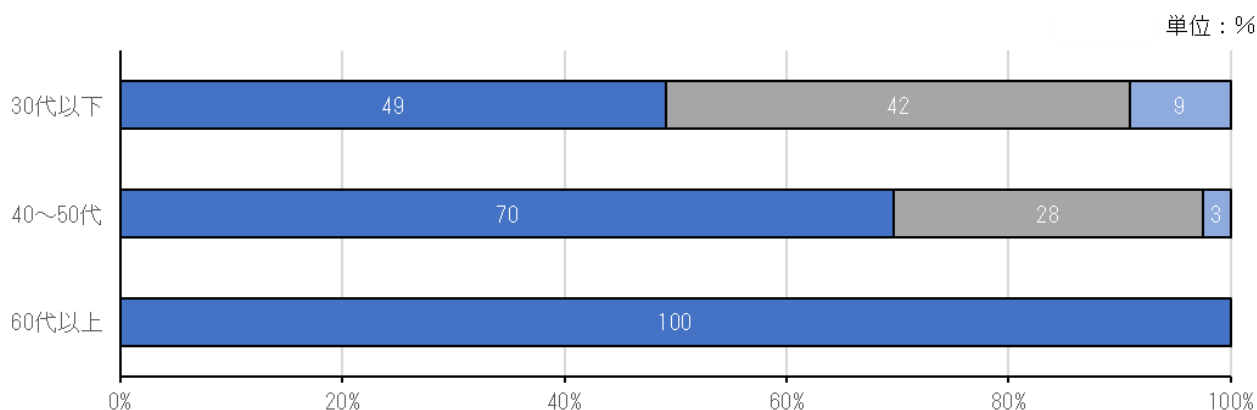
●城東区で子どもを育てたい思い (単数回答)

■全体 (n=135)

選択肢	【主】ウェイト補正なし (%)	【参考】ウェイト補正あり (%)	差
思う	61.5	67.7	-6.2
どちらかといえば思う	33.3	39.5	-6.2
どちらかといえば思わない	5.2	6.6	-1.4
思わない	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0



■年代別 《30代以下 (n=55)、40～50代 : (n=79)、60代以上 (n=1)》



「思う」「どちらかといえば思う」の合算の割合は9割半

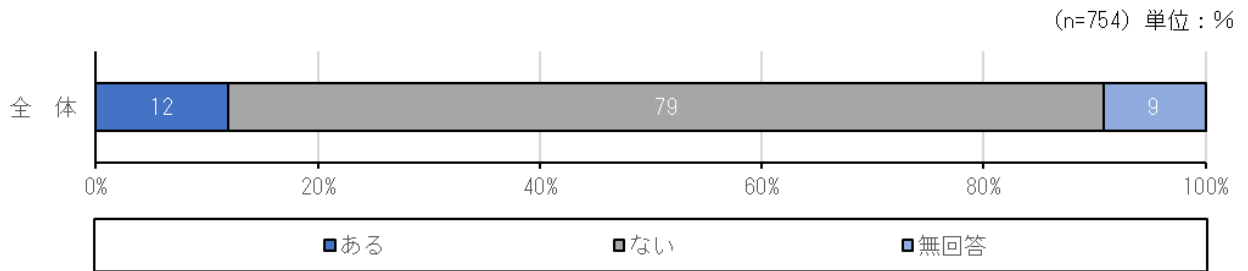
- ・城東区で子どもを育てたい思いについては、「思う」が62%と最も高く、次いで「どちらかといえば思う」が33%、「どちらかといえば思わない」が5%の順となっている。
- ・“思う”（「思う」＋「どちらかといえば思う」）は、95%で9割半となっている。
- ・年代別にみると、全世代の“思う”（「思う」＋「どちらかといえば思う」）が9割を超えている。

問19 子育て支援事業に参加したことがありますか？（回答は1つだけ）

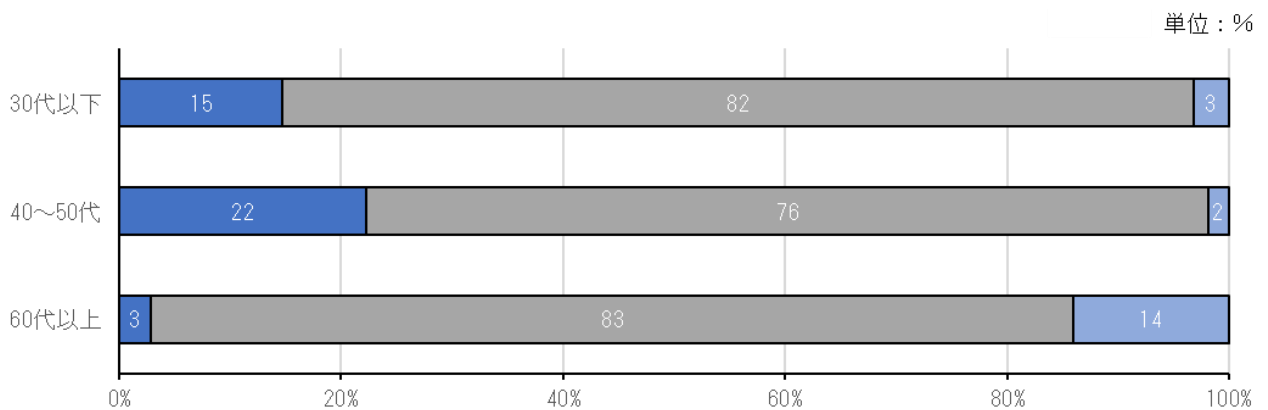
●子育て支援事業の参加有無（単数回答）

■全体（n=754）

選択肢	【主】ウェイト補正なし（%）	【参考】ウェイト補正あり（%）	差
ある	11.9	13.1	-1.2
ない	78.9	80.1	-1.2
無回答	9.2	6.6	2.6



■年代別《30代以下（n=156）、40～50代（n=260）、60代以上（n=313）》



「ない」の割合が約8割

- ・子育て支援事業の参加有無については、「ない」が79%で約8割となっている。
- ・年代別にみると、『40～50代』の「ある」が22%と他の年代と比べて高くなっている。

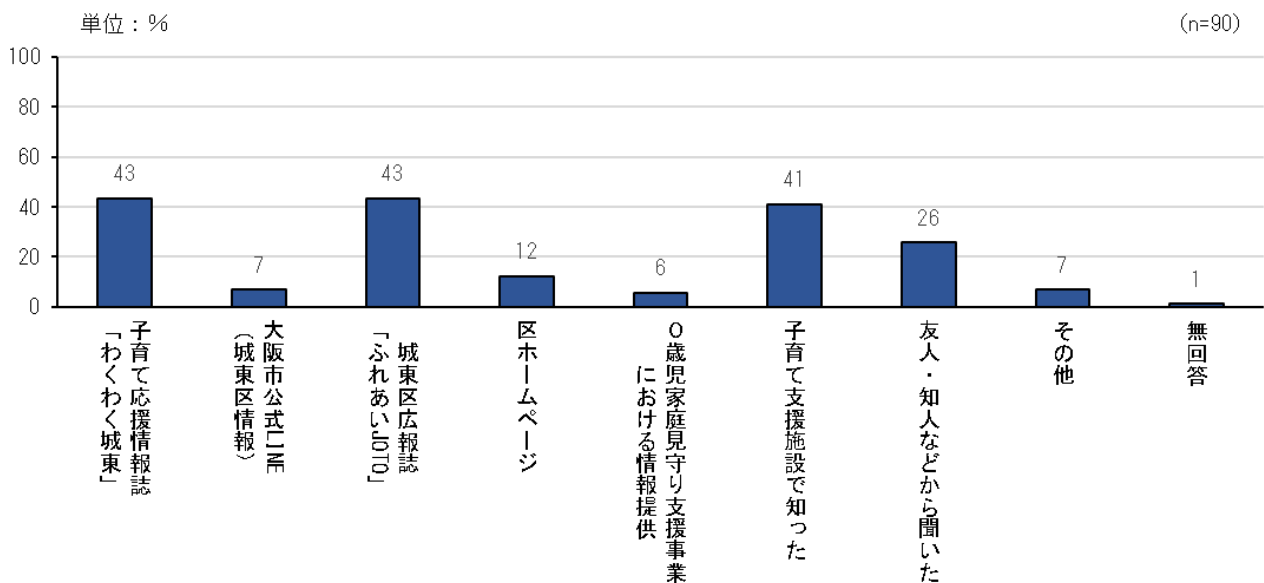
問20 【問19で「ある」と回答された方にお聞きします。】

参加された事業の開催情報は何で知りましたか。（あてはまるものすべて回答）

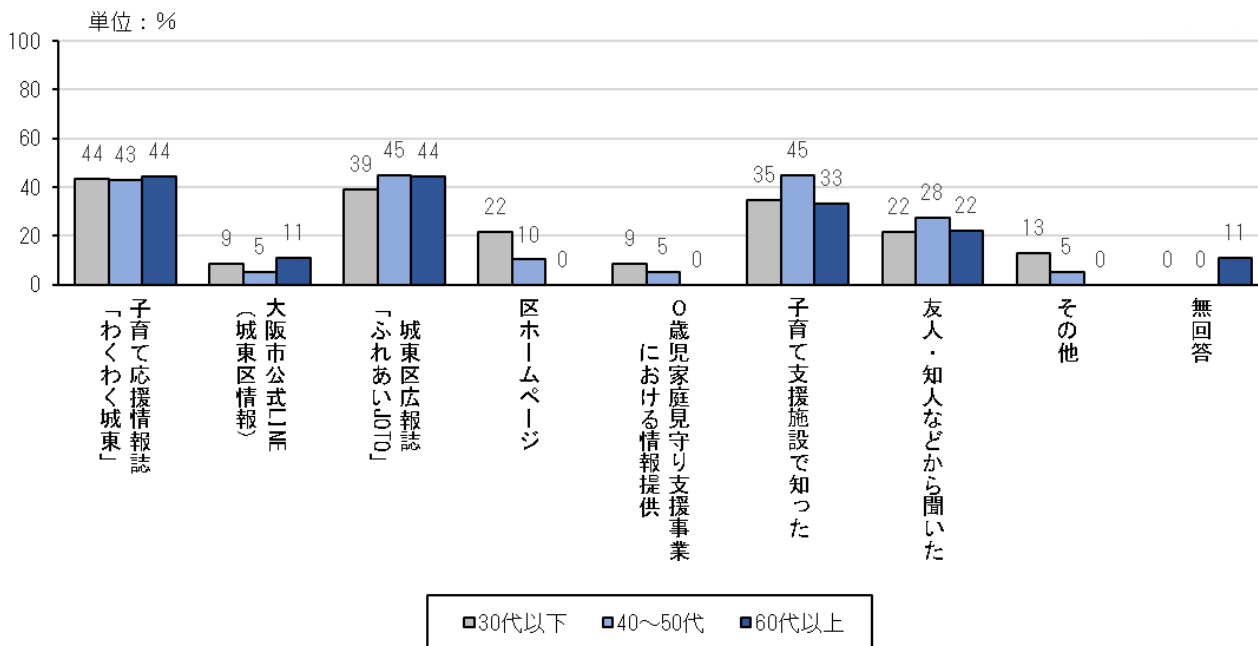
●子育て支援事業の開催情報の入手先（複数回答）

■全体（n=90）

選択肢	【主】ウェイト補正なし（%）	【参考】ウェイト補正あり（%）	差
子育て応援情報誌「わくわく城東」	43.3	45.9	-2.6
大阪市公式LINE（城東区情報）	6.7	7.2	-0.5
城東区広報誌「ふれあいJOTO」	43.3	45.4	-2.1
区ホームページ	12.2	14.2	-2.0
0歳児家庭見守り支援事業における情報提供	5.6	6.3	-0.7
子育て支援施設で知った	41.1	42.9	-1.8
友人・知人などから聞いた	25.6	26.7	-1.1
その他	6.7	7.9	-1.2
無回答	1.1	0.9	0.2



■年代別《30代以下（n=23）、40～50代：（n=58）、60代以上（n=9）》



「子育て応援情報誌「わくわく城東」と「城東区広報誌「ふれあい JOTO」」の割合が最も高く 4 割強

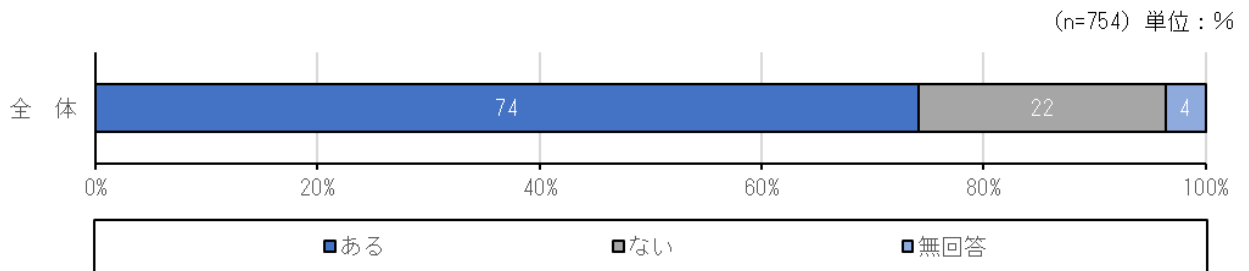
- ・子育て支援事業の開催情報の入手先については、「子育て応援情報誌「わくわく城東」と「城東区広報誌「ふれあい JOTO」」が 43%と最も高く、次いで「子育て支援施設で知った」が 41%の順となっている。
- ・年代別にみると、『40～50代』の「城東区広報誌「ふれあい JOTO」」と「子育て支援施設で知った」が 45%と他の年代と比べて最も高くなっている。

問21 ふだん健康に配慮した食事を心がけていますか。(回答は1つだけ)

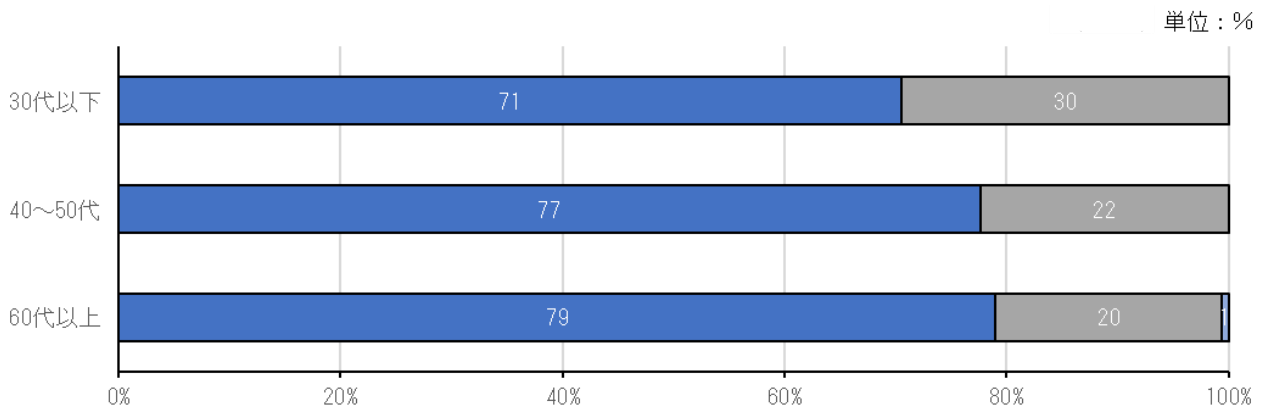
●健康に配慮した食事への思い(単数回答)

■全体 (n=754)

選択肢	【主】ウェイト補正なし (%)	【参考】ウェイト補正あり (%)	差
はい	74.1	75.7	-1.6
いいえ	22.3	23.8	-1.5
無回答	3.6	0.4	3.2



■年代別《30代以下 (n=156)、40~50代 : (n=260)、60代以上 (n=313)》



「はい」の割合が7割強

- ・健康に配慮した食事への思いについては、「はい」が74%で7割強となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の「はい」が79%と他の年代と比べて高くなっている。

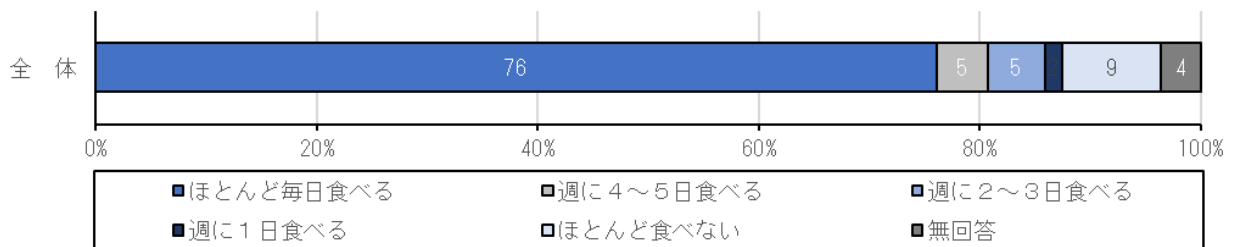
問22 ふだん朝食を食べていますか？（回答は1つだけ）

●朝食摂取の有無（単数回答）

■全体（n=754）

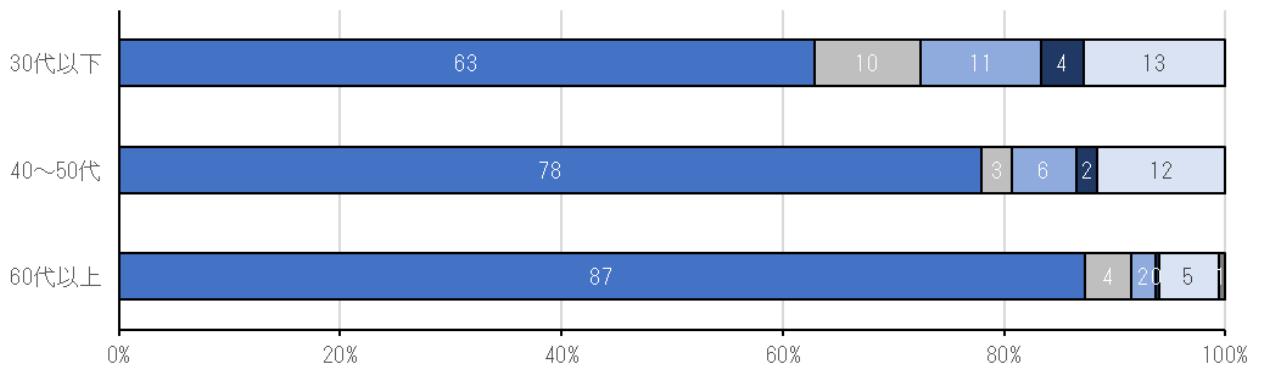
選択肢	【主】ウェイト補正なし（%）	【参考】ウェイト補正あり（%）	差
ほとんど毎日食べる	76.1	76.5	-0.4
週に4～5日食べる	4.6	5.3	-0.7
週に2～3日食べる	5.2	6.0	-0.8
週に1日食べる	1.6	1.9	-0.3
ほとんど食べない	8.9	9.7	-0.8
無回答	3.6	0.4	3.2

(n=754) 単位：%



■年代別《30代以下（n=156）、40～50代：（n=260）、60代以上（n=313）》

単位：%

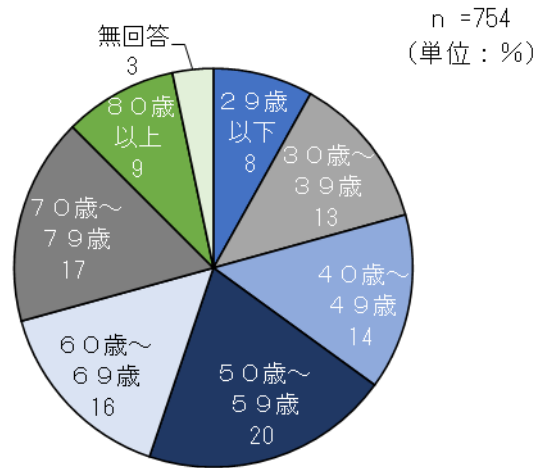


「ほとんど毎日食べる」の割合が8割弱

- ・朝食摂取の有無については、「ほとんど毎日食べる」が76%と最も高く、次いで「ほとんど食べない」が9%、「週に4～5日食べる」と「週に2～3日食べる」が5%の順となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の「ほとんど毎日食べる」が87%と他の年代と比べて高くなっている。

問23 あなたの年齢をお答えください。（回答は1つだけ）

●年齢（単数回答）

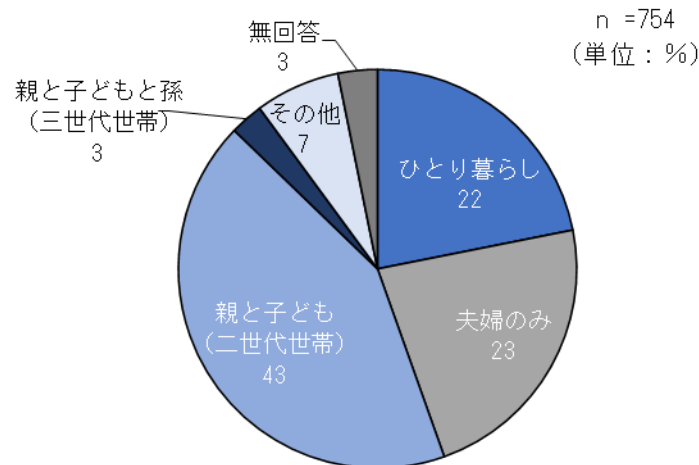


「50歳～59歳」の割合が2割

・年代については、「50歳～59歳」が20%と最も高く、次いで「70歳～79歳」が17%、「60歳～69歳」が16%の順となっている。

問24 あなたの家族構成についてお伺いします。（回答は1つだけ）

●家族構成（単数回答）

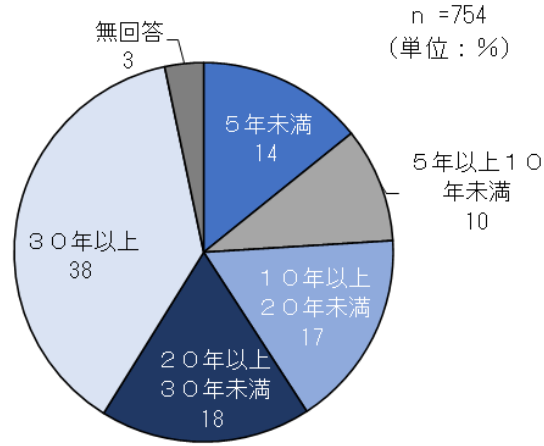


「親と子ども（二世世代世帯）」の割合が4割強

・家族構成については、「親と子ども（二世世代世帯）」が43%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が23%、「ひとり暮らし」が22%の順となっている。

問25 城東区にお住まいになられてどれくらいになりますか。(回答は1つだけ)

●居住年数(単数回答)

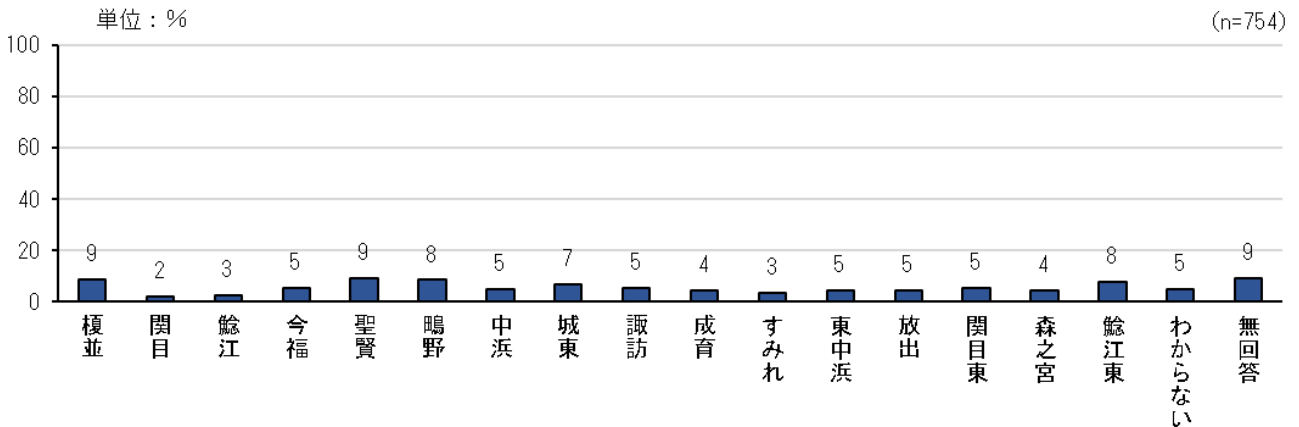


「30年以上」の割合が約4割

- ・居住年数については、「30年以上」が38%と最も高く、次いで「20年以上30年未満」が18%、「10年以上20年未満」が17%の順となっている。

問26 お住まいの地域(小学校区)はどちらですか。(回答は1つだけ)

●お住まいの地域(単数回答)



「榎並」と「聖賢」の割合が約1割

- ・お住まいの地域については、「榎並」と「聖賢」が9%と最も高く、次いで「鴨野」と「鯉江東」が8%の順となっている。